

## － 実証から導入へ、スタートアップと農業者が共創する仕組みを強化 － アグリテック導入支援補助金の対象製品を 12 件に拡大

豊橋市は、令和4年度から「未来の農をつくる」と題して、スタートアップと地域農業関係者との共創による実証開発プロジェクト「TOYOHASHI AGRI MEETUP（豊橋アグリミートアップ）」を進めています。

本事業では、実証開発にとどまらず、開発された製品・サービスを実際の農業現場への導入につなげることを重視しています。令和7年度には、アグリテックコンテストのファイナリストが提案した製品・サービスの導入を支援する「豊橋市アグリテック導入支援補助金」を新設しています（R7年度導入実績：11名）。

この度、製品カタログに新たに7件の製品・サービスを追加し、補助対象製品は合計12件となりました。今後、さらに農業者等が自身の課題に応じた製品を導入できるよう支援していきます。

### ■ 豊橋市アグリテック導入支援補助金

市内のパートナー農業者が、本事業で開発された製品・サービスを購入する際の経費に対して、補助金を交付します。

- (1) 対象者：市内のパートナー農業者（裏面参照）
- (2) 対象経費：「豊橋市アグリテック導入支援補助金 製品カタログ」（別添参照）に掲載された製品の導入に要する経費  
【製品カタログ掲載基準】  
過去3年度以内に市が実施したアグリテックコンテストにおいて、最終審査に残った者が提案した製品
- (3) 補助率：1/2以内（1,000円未満切捨て）
- (4) 補助上限額：
  - ・機械購入費、施設整備費、システム導入費 50万円
  - ・資材購入費 20万円
  - ・使用料、賃借料、サービス利用料 20万円

#### (5) 対象製品：

	企業名 ★印は新規追加	製品内容
1	株式会社いと ★	安定生産や高収益化、減農薬に寄与する資材「LACTy」
2	株式会社 CULTA ★	イチゴ新品種(T3L、T22KLN、T27KLN)の契約栽培および輸出向け生産モデル
3	輝翠株式会社	果樹・野菜農家向け 電動 AI ロボット「アダム」「ミニアダム」
4	GREEN OFFSHORE 株式会社	灌水や側窓開閉を遠隔で自動制御するサービス「GO SWITCH」

5	株式会社ハタケホットケ ★	自動運転型水田除草ロボット「ミズニゴール」
6	株式会社 HALO ★	汚卵・破卵を AI で選別するシステム「コロンスのたまご」
7	株式会社 farmo ★	水田・施設・露地栽培に対応したスマート農業製品シリーズ（「水田ファーム」ほか）
8	株式会社 FieldWorks	畝間対応の小型草刈ロボット「ウネカル」および農薬散布ロボット「ウネマキ」
9	株式会社ミライ菜園	病害虫の発生を予測・可視化する防除 DX アプリ「TENRYO」
10	Milk. 株式会社 ★	光合成量等を短時間で計測できるハンディ型測定器「irodori」
11	locAL Dive ★	栽培・経営・補助金情報の検索や日々の記録を支援する農業向け AI サービス
12	株式会社 WAKU	光合成活性の促進等により生育向上を実現する資材「WAKUFUL」

※製品カタログに掲載する内容は随時追加していきます。最新版は市ホームページ (<https://www.city.toyohashi.lg.jp/62482.htm>) よりご確認ください。



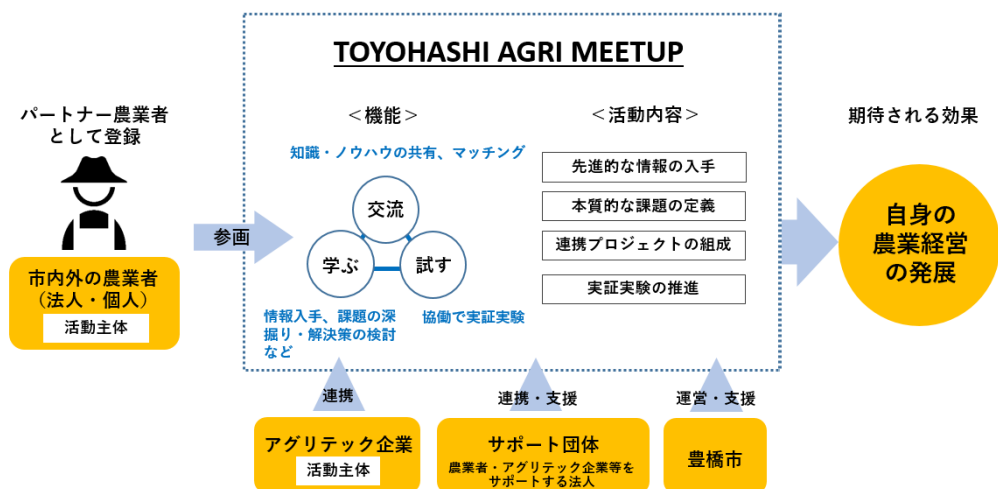
(6) 申請期限 : 令和9年3月31日まで

### 【参考】

#### ■ パートナー農業者登録制度

豊橋アグリミートアップに意欲的に参画する方をパートナー農業者として登録し、参画者同士での知識・ノウハウの共有や課題解決に向けたマッチング、協働による実証実験等を促進することで、パートナー農業者の経営を発展させることを目的としています。

#### <パートナー農業者の参画イメージ>



#### <登録の流れ>

市ホームページ (<https://www.city.toyohashi.lg.jp/62547.htm>) より申し込みをしてください。



## ■ 対象製品説明会

7月に、本制度およびアグリテック製品の展示・説明を行うイベントの開催を予定しています。日程、内容は確定次第お知らせします。

### 問合せ先

- パートナー農業者登録制度について・対象製品説明会  
地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）
- アグリテック導入支援補助金について  
農業支援課 課長補佐 渡会（電話 51-2479）

